opusdei.org

年間第8週・火曜日 65. 寛大さと離脱

ーキリストに従うためには、 実際に物的善を実際に手放す ことが必要。一主に従う人 にイエスは無限の寛大さで報 われる。一いつもキリスト に従うのは価値ある事。これ 世では百倍、天国では神と共 に永遠の命。

2024/05/28

年間第8週・火曜日

65. 寛大さと離脱

- キリストに従うためには、実際に物的善を実際に手放すことが必要。
- 一主に従う人にイエスは無限の寛大 さで報われる。
- 一 いつもキリストに従うのは価値ある事。この世では百倍、天国では神 と共に永遠の命。

65.1 キリストに従おうとするなら、 物質的なものからの事実上の離脱が 必要

昨日は金持ちの若者の話を黙想しましたが、その後、イエスと弟子たちは再びエルサレムに向かう旅に出ました。財産に強く縛られていた若者が悲しそうに去って行く様子と、地上的なものへ強く執着するあまり、キリストに付き従うことのできない者に対するイエスの言葉は、弟子た

 さい。あなたは彼がしたように悲し そうに去って行くでしょうか?」³

使徒たちのように、私たちはそれぞ れ自分の召命に従って、主が捨てる ように要求したものをすべて捨てま した。さらにそのうえ、キリストの ところに急ぎ、従うことを妨げるど んな絆も絶とうと固い決心をしてい ます。今日、私たちは、所有し使用 するものから実際に離脱して、キリ ストを自分の存在の中心にする決心 を新たにすることができますし、そ の結果、聖パウロとともに「それば かりか、わたしの主キリスト・イエ スを知ることのあまりの素晴らしさ に、今では他の一切を損失と見てい ます。キリストのゆえに、わたしは すべてを失いましたが、それらを塵 芥(ちりあくた)と見なしています| ↑ と言うことができるのです。確か に、キリストの豊かさを知る人はす べてのものを使えるでしょう。それ と比べる時、富、財宝、力はくずの

ように思われます。計り知れない宝と、比べたり競ったりするものは何もありません」。 キリストという宝と比べて、価値のあるものは何もありません。

「わたしたちはすべてのものを捨て ました」。ペトロ、あなたは何を捨 てましたか? 古い舟と網。けれども 彼は答えるに違いありません。「私 は全世界を捨てました。自分では何 も持たないのだから…」。彼らはす べてを捨てました。そして世界を創 られた方に従い、その約束を信じま した。私たちもそうしたいと望ん でいます。キリストに対する愛への 邪魔が何もない時、すべてを捨てた と言うことができます。主はいつで も、弟子たちに彼らが置かれている あらゆる生活環境の中で清貧の徳を 要求されています。私たちはこれを 繰り返し考えています。それは、キ リストに従うための本質的な要素だ からです。主は物質的な物を所有

し、使用することにおいても、現実 に実践する簡素さをも私たちに求め ておられます。このように生きるこ とは際立った寛大さ、多くの犠牲と 絶え間ない努力があることが推測さ れる⁷とパウロ六世は述べられてい ます。日常生活の状況の中で、私た ちがこの徳を実行するように学ぶこ とは、非常に重要なことです。私た ちは衝動買いを避けて、無駄な出費 を削減しなければなりません。時間 をうまく使い、神の事柄において は、寛大に使いましょう。衣類、家 具、家庭の道具などを手入れし、慈 善事業を支えることに寛大でなけれ ばなりません。

ある人々は、社会の真っ只中で専門職を果たすことによって使徒職を行うという、さらに特別の呼びかけを受けています。12使徒のように、神は、彼らに教会と霊魂への奉仕に、もっと十分に役立つようにと、所有しているものや富、余暇と家族から

完全に離脱することを要求なさるか も知れません。

65.2 イエスは、彼に従う人々に限りない寛大さをもって報いられる

私たちはすべてを捨てました。それ は、キリスト者としての召し出しが 要求することに対して、さらに寛大 に応え、実際にものから離脱する行 為が、かなりの重荷から自由にして くれます。戦闘でもっと自由に動く ために、不要な手荷物を投げ捨てる 兵士のようになります。このように して、神にもっと良く什えるため に、私たちは喜んで私たちの周囲に ある物をいわば支配するわけです。 もはや物に支配されず、聖パウロが 言及する開放感を喜んで体験しま す。私たちは世の中で、「無一物の ようで、すべてのものを所有してい ます」8。このように利己主義を捨 てた心なら、もっと容易に愛に満た され、それとともにすべてのものを

自分のものとすることができるのです。「パウロもアポロもケファも、世界も生も死も、今起こっていることも将来起こることも。一切はあなたがたのもの、あなたがたはキリストのもの、キリストは神のものなのです」。。

ペトロは、出会った若者のようにで はなく、自分たちがすべてを捨てた ことをイエスに思い出させます。シ モンは全く後悔していません。しか し彼は、たとえ今は何も持たなくて も、彼には引き換えに益を得るこ と、主とともにいることは価値があ るという主の元気づけが必要である ように見えます。使徒はとても人間 的であることが分かります。それと 同時に、彼の疑問はキリストへの信 頼を表します。イエスは、欠点があ るにもかかわらず、忠実に自分に 従った人々に対する優しさに満ちて いました。

「『わたしのために、家、兄弟、姉妹、父、母、妻、子を後にし、田畑を手放す人は、今この世では百倍を受ける。そのうえ、また後の世では永遠の生命を受ける』。この世に、これほど寛大に報(むく)いる人がいるだろうか」¹⁰。

イエスほど寛大さにおいてまさっておられる方はないでしょう。一杯の冷たい水 - 施し、奉仕、何か良い行い - でさえも、キリストのために与えられ、行われるのでなければ、報いはないでしょう11。離脱の程度、清貧の度合いを糾明する時、誠実でいましょう。すべてを捨てましたと神のみ前で本当に断言できますか?

すべてを捨てるなら、イエスは私たちの道を必ず強めてくださるでしょう。私たちの最も小さな行いでさえ 考慮なさるイエスが、来る日も来る日も愛のためにだけに表される私た

ちの忠誠をどうして忘れることがで きるでしょうか? イエスは、さほど 正しい意向もなく数日間従った群衆 のために、パンと魚を増やしまし た。それならば、常に従うためにす べてを捨てた人々に何もしないでい られるでしょうか? イエスに従う 人々がその召命の道を続けていくた めに特別な助言を必要としているな ら、どうしてイエスが私たちを忘れ ることなどあるでしょうか? 私たち が手段に欠くのを見て、もし神であ る御父に手段をくださるように頼ん だとして、神はそれを拒むことなど あるでしょうか? 裏切りのあとで 戻ってきた息子にさえ、大宴会を整 えてくださる神ですから、いつも主 の傍らに留まろうと努める私たちに 対していかほどのことをしてくださ るか想像できるのではないでしょう か?12

キリストの言葉は、当時、エルサレムに向かう道をキリストに従った

人々に元気を取り戻させました。ま た、これらの言葉は、世紀を越え て、神にすべてを捧げ、主の教えの 中に再び信仰を固め、深め、自己を 与えるための助けを探し求めた人々 にこだまします。キリストの約束 は、この世が差し出すことのできる すべての幸福をはるかに越えていま す。しかし、キリストは私たちがこ の地上でもまた幸福であることを望 んでおられます。従う者は、この世 においてすでに、すべての人間的な 慰めと幸福をはるかにしのぐ喜びと 平和を手に入れます。また、この短 い一生が終わる時、天国の前兆であ るこの喜びと平和に、永遠の幸福を 加えなければなりません。一生は一 瞬です。ほんのわずかな時間でしか ありません。私たちの報いは無限で す。たとえ全く報いがなくても、主 に与えられた忠告に従い、主なる神 をどこまでも真似れば、計り知れな い報いが私たちにもたらされるに違 いありません13。

65.3 キリストに従うことは常に価値 がある

「主よ、あなたは人をも獣をも救わ れる」。詩編作者は言います。「神 よ、あなたの慈しみはいかに貴いこ とか1 (詩編36・6-7)。 神が、ご 自分の愛としてこのような貴い愛 を、良い人にも悪い人にも、人間に も動物にも、お与えになるのなら、 ご自分に忠実な人々のために何を差 し控えられることがあるでしょうか 14。 主に従うこと、あらゆる瞬間に 主に忠実であること、主のためにす べてを放棄すること、主がかかわる ところで寛大さに制限を設けないこ とは価値があります。主は、聖ヨハ ネ・クリゾストモの言葉の中で私た ちにこう言われます。「あなたが貸 そうとしている金、それをわたしに ください。わたしはもっと多くの利 子とさらに良い保証を与えます。ど こかの軍に入隊にするつもりなら、 わたしの軍隊に来なさい。支払いと

神は小さなことに対して、大きな報酬をくださいます。キリスト者が出て、主の十字架の苦しみにあずることででは、主に似ることがでであるはず、当には様々な形でもはずいの試みはずのはがはない。一点にはないである善に変えるければない。からはずいまないがあるがである。というないがはないがある。

りと一致することを求めておられますから。

キリストは忠実な人々に永遠の幸福 を約束されました。「さあ、来なさ い、わたしの御父に祝福された人た ち、天地創造の時からお前たちのた めに用意されている国を受け継ぎな さい」と彼らに言う、この世で仕え た主の声を聞くでしょう17。 私たち 皆がキリストにもっとしっかりと従 うために放棄することすべて、ある いは、キリストのために苦しむわず かなことは、永遠の生命に入る時、 喜んで迎えられるこの言葉を聞くこ とで報われます。イエスご自身が天 国に私たちを導いてくださいます。

私たちは愛のためにキリストに従うけれども、突然すべてのことが何かもっと難しく感じる時が訪れるかも知れません。その時は、私たちがご褒美について考えるのに役立つ祈りをゆっくりと繰り返しましょう。

「やる値打ちがある! やる値打ちがある! やる値打ちがある!」と。そうすれば、希望が強められ、確実な歩み方ができるでしょう。

イエス・キリストを所有すれば、、他に有りにするものになっています。聖トマスのようににしています。日に、おったと言われているます。とはいったはいませんがで、上でいるないではいませんがではいるとものでははいるとももに、ではいるないではいるともにはいるでではいるともにはいるでしょう。

聖母が力強い仲介によって私たちのために、離脱と寛大さへのしっかりとした心構えを得てくださいますように。聖母がなさったように、私たちが周りのすべての人々のために、キリスト者の貧しさを愛するという

喜びに満ちた態度を感染させること になるでしょう。

(フランシスコ・フェルナンデス・ カルバハル『神との対話』)

- 1マルコ10:28-31
- 2マタイ19-27
- ³聖アウグスチヌス, Sermon 3 0 1 A,5
- ⁴ フィリピ3:8
- 5 Catechism of the Council of Trent, IV, 1.1, 1.5 参照
- ⁶ 聖アウグスチヌス,loc cit, 4 参照
- ⁷ パウロ 6世, Encyclical, Poplorum progressio, 4 7参照

- 8 2 コリント6:10
- 9 1コリント3:22-23
- ¹⁰聖ホセマリア・エスクリバー, 『道』, 670参照
- 11 マタイ10:42参照
- ¹² 聖ホセマリア・エスクリバー,
 『神の朋友』, 309
- 13 聖テレジア, The Way of perfection, 2, 7参照
- 14 聖アウグスチヌス, Sermon 2 5 5, on the Alleluia参照
- ¹⁵ 聖ヨハネ・クリゾストモ, Homilies on St Matthew's Gospel, 76, 4
- __ ローマ, 8:17参照
- ¹⁷ マタイ25:34参照

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/TO-VIII-ka/ (2025/11/23)